

一宮保育園4・5歳保育室トイレ 改修機械設備工事

図面目次

図面番号	図面名称	縮尺
M-01	特記仕様書（1）	NOSCALE
M-02	特記仕様書（2）	NOSCALE
M-03	工事概要・配置図・付近見取図	NOSCALE
M-04	給排水衛生設備 4・5歳保育室トイレ平面詳細図（改修前・後）	1/30
M-05	換気設備 4・5歳保育室トイレ平面詳細図（改修前・後）	1/30
A-07	概要 付近見取図	NOSCALE
A-08	配置図兼仮設計画図	1/150
A-09	【改修前・改修後】平面詳細図、天井伏図	1/30

株式
会社

掛水環境研究所

高知市南久万204番地8 TEL 875-5812
FAX 826-7136

[illegible]

項目

機械設備特記事項

1 概説その他

2 総合調整

3 配管材料

4 配管付属品

5 スリーブ

6 支持材料

7 さや管工法

8 変位吸収配管施工

9 フランジ接合

10 融着接合

特記事項

※ 配管表記

(1.1.7.4準拠) [1.1.8.5準拠]

a) 機械室・ピット・P S 内・天井点検口・配管分岐場所には必ず表記する。

b) 表記内容は、流体・サイズ・系統名とし、場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。

c) 配管の識別は、原則として J I S 2 9 1 0 2 によるものとし、識別方法・色合いは監督職員の指示による。

※ 機器表記 (該当する主要機器は事前に確認する。)

a) 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート等にて表記 (管理番号・室名・設置年月等) を行う。

b) パッケージエアコン等の空調機は、室内機だけでなく室外機にも表記を行う。

c) 水中に設置する各種主要機器類は銘板 (製造社名・製造年月・型番・性能等) を盤付近にも設ける。

※ 弁には、開閉等を記入したアクリル札を取付け、風で飛んだり騒音を立てないように固定するか、表示方法を協議する。

※ 埋設弁ボックスには、内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。

※ 埋設弁ボックスの蓋は、流体の行き先側に蓋の付根を向ける。

※ 排水以外の屋外埋設管には、曲がり・分岐部・その他埋設管の位置が確認できるように地中埋設標を設ける。

※ 排水以外の屋外埋設管の埋戻し時には、G L - 1 5 0 m m 程度に埋設表示用アルミテープを埋設する。

本工事に該当する工事種目に応じて、下記項目の総合調整を行い、計画書及び報告書を監督職員に提出する。

a) 風量調整

b) 水量・水圧調整

c) 室内外空気の温度の測定

d) 騒音の測定

e) 室内気流及びじんあいの測定

f) 飲料水の水质の測定

なお、季節により運転条件が異なる、使用開始から定常状態に入るまでに時間を要する等の理由により、工期内の測定完了が可能な調整項目の対応については、監督職員との協議による。

(2.1.3.3準拠) [2.1.3.3準拠]

配管の種類					
場所	屋内露出	天井 P S 内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設
給水	(16)	(16) (17)	(16) (17)	(16)	(16) (17)
排水・通気	(22)	(13)	(13) (15)	(13) (22)	(15)
給湯	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)
消火	(6)	(6)	(6)	(6)	(13)
ガス	(20)	(20)	(20)	(20)	(17)
冷媒	(10)	(10)	(10)	(10)	-
機器ドレン	(23)	(23)	(23)	(23) (22)	(15)
冷温水	(2) (5)	(2) (5)	(2) (5)	(2) (5)	-
冷却水	(2) (3)	(2) (3)	(2) (3)	(2) (3)	-

(1) 配管用炭素鋼鋼管 (SGP黒管: JIS G 3452)

(2) 配管用炭素鋼鋼管 (SGP白管: JIS G 3452)

(3) 水道用硬質塩化ビニル管 (VP: JIS K 6742)

(4) 水道用硬質塩化ビニル管 (VP-VU: JIS K 6741)

(5) 水道用耐熱性硬質塩化ビニル管 (HVP: JIS K 6742)

(6) 耐熱性硬質塩化ビニル管 (HT: JIS K 6776)

(7) 水道配用水用ポリ пропилен管 (JWWA K 144)

(8) 建築設備用高密度ポリエチレン管

(9) 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS: WSP 041)

(10) 排水用硬質塩化ビニル管 (D-VA: WSP 042)

(11) 配管用ステンレス鋼鋼管 (SUS 304 TP-A: JIS G 3459)

(12) 一般配管用ステンレス鋼鋼管 (SUS 304 TPD: JIS G 3448)

(13) 断熱材被覆鋼管 (JCDA 0009)

(14) 水道用架橋ポリエチレン管 (JIS K 6787)

(15) 水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762)

(16) 耐熱性硬質塩化ビニル管 (VP: JIS K 6742)

(17) 耐熱性硬質塩化ビニル管 (VP-VU: JIS K 6741)

(18) 耐熱性硬質塩化ビニル管 (HVP: JIS K 6742)

(19) 耐熱性硬質塩化ビニル管 (HT: JIS K 6776)

(20) 水道配用水用ポリ пропилен管 (JWWA K 144)

(21) 建築設備用高密度ポリエチレン管

(22) 消火用ポリエチレン管

(23) ガス用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管

(24) ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774)

(25) 硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741)

(26) 保温材付空調用ドレン管 (JIS G 8430準拠・JIS K 6741)

設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。

(2.2.1.2準拠) [2.2.1.1準拠]

弁の使用区分				
系統名	弁名称	寸法区分	規格	耐圧
給水	ボール弁	50 A 以下	青銅・管端防食	5 K ※ 10 K ・ 16 K ・ 20 K
	バタフライ弁	65 A 以上	ライニング	5 K ※ 10 K ・ 16 K ・ 20 K
給湯	ボール弁	50 A 以下	青銅・管端防食	5 K ※ 10 K ・ 16 K ・ 20 K
	バタフライ弁	65 A 以上	S U S	5 K ※ 10 K ・ 16 K ・ 20 K
冷温水	玉形弁	50 A 以下	青銅・管端防食	5 K ※ 10 K ・ 16 K ・ 20 K
	バタフライ弁	65 A 以上	ライニング	5 K ※ 10 K ・ 16 K ・ 20 K

設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。

(2.2.2.1準拠) [2.2.1.1準拠]

国土交通省仕様とする。ただし、水密を要する部分は配管用ステンレス鋼鋼管及び水膨張性ゴムリングを用いる。

(2.2.2.27準拠)

※ 1 階土間コンクリート下部配管は、ステンレス製吊りボルトにてスラブ筋に支持する。

※ 屋外及びピット内配管の支持金物・形鋼振止め金物・吊り金物・インサート金物・アンカーボルトはステンレス製とする。

※ 形鋼振止め支持部材の選定は、公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) に準ずるものとし、既製品は使用しない。

※ 冷媒管の吊り用支持受け材として、断熱材被覆鋼管と吊り金物との間に保護プレートを設置する。

さや管ヘッダー工法で施工する場合、さや管施工後に配管挿入を行い、同時施工としない。

※ 建築物導入部及びエキスパンションジョイント部は、フレキシブルジョイント等を使用した方法で施工する。

※ 埋設管の屋内外接続部では、地盤沈下等の変位に対して可とう継手、伸縮可とう継手を設ける等の措置を講じる。

設計図面に個別の記載がない場合は、伸縮継手、自在継手を使用してもよい。

※ 埋設管と露出配管の切替部 (配管立ち上がり部) に伸縮継手を設ける。

[給水装置工事施工要領準拠] [下水道排水設備指針と解説準拠]

※ 屋外及びピット内のフランジ接合材は、ステンレス製とし焼付防止処理を施す。

※ 異種管のフランジ接合は、絶縁スリーブ、絶縁ワッシャー等による絶縁フランジ接合とする。

ポリエチレン管融着接合作業における技能者は、十分な経験と技能を有するものとする。

項目

11 メカニカル継手

12 吊り及び支持

13 埋設管の保護

14 埋設深さ

15 防食措置

16 保温工事

17 塗装

18 はつり工事

19 非破壊検査

20 あと施工アンカー

21 パッケージ形空調と機

22 ダクト及びダクト付属品

23 合併処理浄化槽

特記事項

※ メカニカル継手は伸縮可とう・離脱防止性能を有し、内外面エポキシ粉体塗装を施したものとする。

※ 改修工事等で銅管類 (ライニング銅管) を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、切断部の防錆処理として、J A W W A K 1 3 5 規格適合品にて処置する。

※ 原則として下図に従う。詳細は国土交通省仕様による。

(2.2.6.3準拠) [2.2.4.3準拠]

横走り管の吊り及び振れ止め最大支持間隔		
分類	呼び径	
吊り金物による吊り	銅管等	2.0m
	ビニル管等	1.0m
形鋼振れ止め支持	銅管等	8.0m
	ビニル管等	6.0m

立て管の固定及び振れ止め箇所

固定	銅管等	最下階の床又は最上階の床
形鋼振れ止め支持	銅管等	各階 1 箇所
	ビニル管等	各階 1 箇所

※ 国土交通省仕様どおり吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振止めを適宜設ける。

※ 屋外等で吊り金物による施工ができない場合には、ブラケット等にて配管及び配管付属品を支持し、配管荷重による管の移動を抑える。

※ 契約量水器までの埋設給水管及び埋設ガス管は管の周囲 1 0 0 m m 程度に保護砂を入れる。

※ 契約量水器以降の埋設給水管及び埋設消火管は簡易保温筒で巻く。

※ 排水管は管が移動しないように中心程度まで埋戻す。ただし、土圧及び上載荷重が管きよの耐荷重を超える場合は、遮断用砂で巻いて、外圧に対して管きよを保護する。

(2.2.7.1準拠) [2.2.5.1準拠] [下水道排水設備指針と解説]

管の地中埋設深さは、原則として車両道路では管の上端より 6 0 0 m m 以上、それ以外では 3 0 0 m m 以上とする。ただし、寒冷地では凍結深度以上とする。

(2.2.7.2) [2.2.5.2]

※ 銅管、鉛管のコンクリート内配管にはプラスチックテープ 1 / 2 重ね 1 回巻きとする。

(2.2.7.3準拠) [2.2.5.3準拠]

※ 地中に埋設する鉄銹管・鉄銹異形管・メカニカル継手・特殊継手類にはポリエチレンスリーブ等の被覆を講じること。

[給水装置工事施工要領]

保温の種類						
場所	屋内露出	機械室・倉庫	天井・P S 内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設
給水	a (n) VII	b (n) VII	C2 (n) VII	d (n) VII	e3 (n) VII	(-)
排水						屋内空調用ドレン管は保温材付き
給湯	a (n) I	b (n) I	C2 (n) I	d (n) I	e3 (n) I	(^)
冷媒管	A1 (n) VII	B (n) VII			E3 (n) VII	断熱材被覆銅管の場合
矩形ダクト	J1 (n) X I	I (n) X I	I (n) X I	-	K3 (n) X I	-
丸形ダクト	O1 (n) X I	N (n) X I	N (n) X I	-	P3 (n) X I	-
弁・継手類	a (n)	b (n)	C2 (n)	d (n)	e3 (n)	-

(i) ロックウール保温材 (n) グラスウール保温材 (n) ポリスチレンフォーム保温材

(-) 簡易保温筒 1 0 m m (k) 簡易保温筒 2 0 m m (n) 簡易耐熱保温筒 1 0 m m (l) 簡易耐熱保温筒 2 0 m m

設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。

(2.3.1.1準拠) [2.3.1.1準拠]

亜鉛鍍金面の塗装下地は化学処理 (エッチングプライマ) を施す。

(2.3.2.1) [2.3.2.1]

既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

[2.4.1.3]

はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。

[2.4.1.1]

新営工事においては、原則としてあと施工アンカーは使用しない。

[2.5.1.3]

使用する場合には、工事の着手に先立ち施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有するものとする。

機器仕様

a) グリーン購入法調達基準適合品とし、各メーカーの最高効率機種とする。

b) 室外機仕様

・ J R A 耐重塩害仕様

・ 耐塩害仕様

・ 防振架台

・ 転倒防止金物

・ 高調波対策仕様

c) 室内機仕様

・ ドレンアップメカ

・ 自動昇降パネル

・ 防振装置

・ 振止め金物

工事仕様

a) ドレンアップメカにより排水する場合は、機器直近にて鳥居状に配管し、立下り部直上に掃除口を設ける。

b) 配管化粧カバーは、エンドキャップを使用しテープ巻きの範囲を最小限とし、ジャバラ部材は使用しない。

c) 配管化粧カバー・配管ラッキングは室外機直近まで施す。

d) 室内機及び室外機への電源送りは電気設備工事とし、室外機間の渡り電気配線及び室外機・室内機間の電気配線 (アース含む) は配管、配線共本工事とする。渡り配線で、冷媒配管と同じルートで施工する場所は同配管外装内に納める。

空調ダクト材料

※ 亜鉛鉄板製

※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V U)

※ ステンレス製

換気ダクト材料

※ 亜鉛鉄板製

※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V U)

※ ステンレス製

屋外フード

ウェザーカバーはステンレス製・給排気形・水切り付きとし、ベンドキャップはステンレス製・深型・水切り付きとする。

原則として、排気用には防鳥網、給気用には防虫網を設ける。

・ 浄化槽の使用開始後概ね 3 ヶ月間の試運転調整を行う。浄化槽法による「保守点検及び清掃等」のほか下記的事项による。

a) 最低限の点検回数は、小型・沈殿分離方式は月に 1 回、流量調整槽のある場合は 2 週に 1 回とする。

項目

24 斜

25 防振施工

26 転倒・落下・傾き防止

27 特定天井への対応

28 耐震施工

29 別途工事

30 支給品

メーカーリスト

打合せ事項

特記事項

b) 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は、直前に水质検査 (B O D ・ S S ・ P H ・ 大腸菌・塩素イオン) を行い、そのコピーを管理業者、施設管理者、監督職員に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。

※ 見えやすい場所に、型式・施工者名・設置年月・処理能力・放流水質を記入した銘板を設置する。

※ コンクリート製の樹 (工場製作品) には、仕上がり 5 c m 程度に砂利又は砂等で基礎を施す。

※ プラスチック製の樹には、コンクリート製または既製の複合材製による基礎を施す。

※ 舗装面に設置されない樹の蓋は、周囲をモルタル等 (厚さ 1 0 c m 程度) により保護する。

[下水道排水設備指針と解説準拠]

※ 機器の振動が建物に影響を及ぼすおそれのあるものは、適切な防振措置を施す。

※ 電動機等により振動を生じる機器及び配管の固定部にはダブルナットやストッパーボルト等により緩み・脱落防止措置を施す。ナットは、アイマークにより締め付けが確認できるようにし、ナットに対するボルトの余長は 3 山以上を標準とする。

[公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) 準拠]

※ 床又は壁に設置の機器で重量が大きく重心位置が比較的高い機器については転倒防止措置を施す。

※ 天吊り機器には振止め用形鋼架台や斜材を用いる等して落下・傾き防止措置を適切に施す。

※ 天吊り機器と吊り金物との接続箇所毎に防振装置を設ける。

[建築設備検査資格者講習テキスト準拠]

天吊り機器等の施工方法は、「建築物における天井脱落対策に係る技術基準」に適合すること。

設備機器の固定等は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針 (2 0 1 4 年版)」及び建設大臣官房官庁営繕部監修の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説 (平成 8 年版)」による。

局部震度法による設計用標準震度は、構造体の耐震安全性の分類、設備機器の重要度及び設置階により選定する。1 0 0 k g 以上の機器に適用し、それ以下の機器については監督職員と協議する。

給湯設備の転倒防止措置は、建築基準法施行令第 1 2 9 条の 2 の 7 第 2 号及び同令に基づく告示 (平成 24 年国土交通省告示第 1 4 4 7 号) の定めによる。

なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。

施設の分類

・ 特定の施設

・ 一般の施設

地域係数

1. 0

設計用鉛直地震力

設計水平地震力の 1 / 2

重要機器

防災機器

火を使用する機器

タンク類

消火設備機器

() 内の数値は防振支持の機器の場合、[] 内の数値は水槽類の場合に適用する。

・ スリープ及び插入の補強筋

・ ガラリ

・ 窓枠アルミパネル

・ 床点検口

○ 天井点検口

・ 天井及び壁開口に対する下地補強

・ 洗面化粧台水栓及び排水金物

・ キッチン台水栓及び排水金物

・ シャワーユニット水栓及び排水金物

・ レンジフードファン

・ シャワーユニット換気扇

・ 化粧鏡 (一般使用)

・ 化粧鏡 (多機能使用)

・ 給湯機器及び空調機器のリモコン配線用配管

・ コンクリート基礎

・ 受水槽

・ ボンベ庫

設計図面に本工事で施工の旨が個別に記載されたものについてはこれによらない。

・ 消火器

・ ガス漏れ警報器

・ 電磁調理器

機材名		メーカー名	
衛生陶器	T O T O , L I X I L		
水栓金具類	T O T O , L I X I L , 三栄水栓		
F R P 水槽	三菱樹脂、日立化成、積水、ブリヂストン		
うず巻ポンプ	荏原、日立、テラル、川本		
水中モーターポンプ	荏原、日立、テラル、川本、鶴見		
汚水・汚物ポンプ	荏原、日立、テラル、川本、鶴見、新明和		
電気温水器	四菱テック、ユパック、日本電熱、パナソニック、三菱、日立		
厨房機器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン		
小型銅板ボイラー	巴、昭和、愛知、ネボン、ヒラカワ		
F R P 膨張水槽	三菱樹脂、日立化成、ホーコス		
ルームエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、日本キャリア		
パッケージエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、日本キャリア		
冷温水発生機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工		
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、パナソニック、日立、木村、日本キャリア、三菱重工		
送風機	テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業		
冷却塔	矢崎、日立、荏原シノワ、空研、日本スピンドル		
自動制御機器	アズビル、ジョンソンコントロールズ		
ロールフィルター	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ		
全熱交換形換気扇	三菱、パナソニック、テラル、日本キャリア、日立、ダイキン		
その他	国土交通省仕様適合品		

官公庁等名	打合せ日時	令和 2026 年 5 月 7 日
打合せ事項		

官公庁等名	打合せ日時	令和 年 月 日
打合せ事項		

官公庁等名	打合せ日時	令和 年 月 日
打合せ事項		

工 事 名

一宮保育園4・5歳保育室トイレ改修機械設備工事

図 面 名 特記仕様書 (2)

更新日 2025.10.1

係

係 長

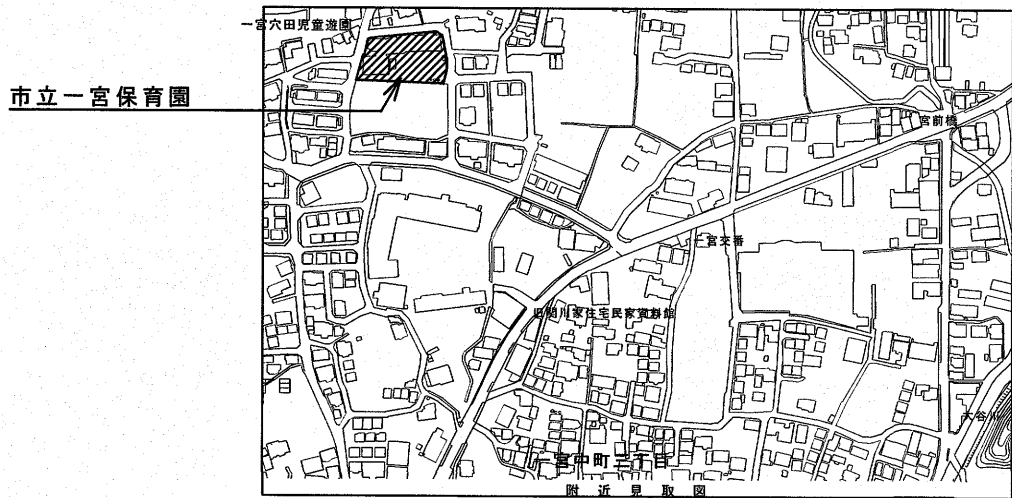
課長補佐

課 長

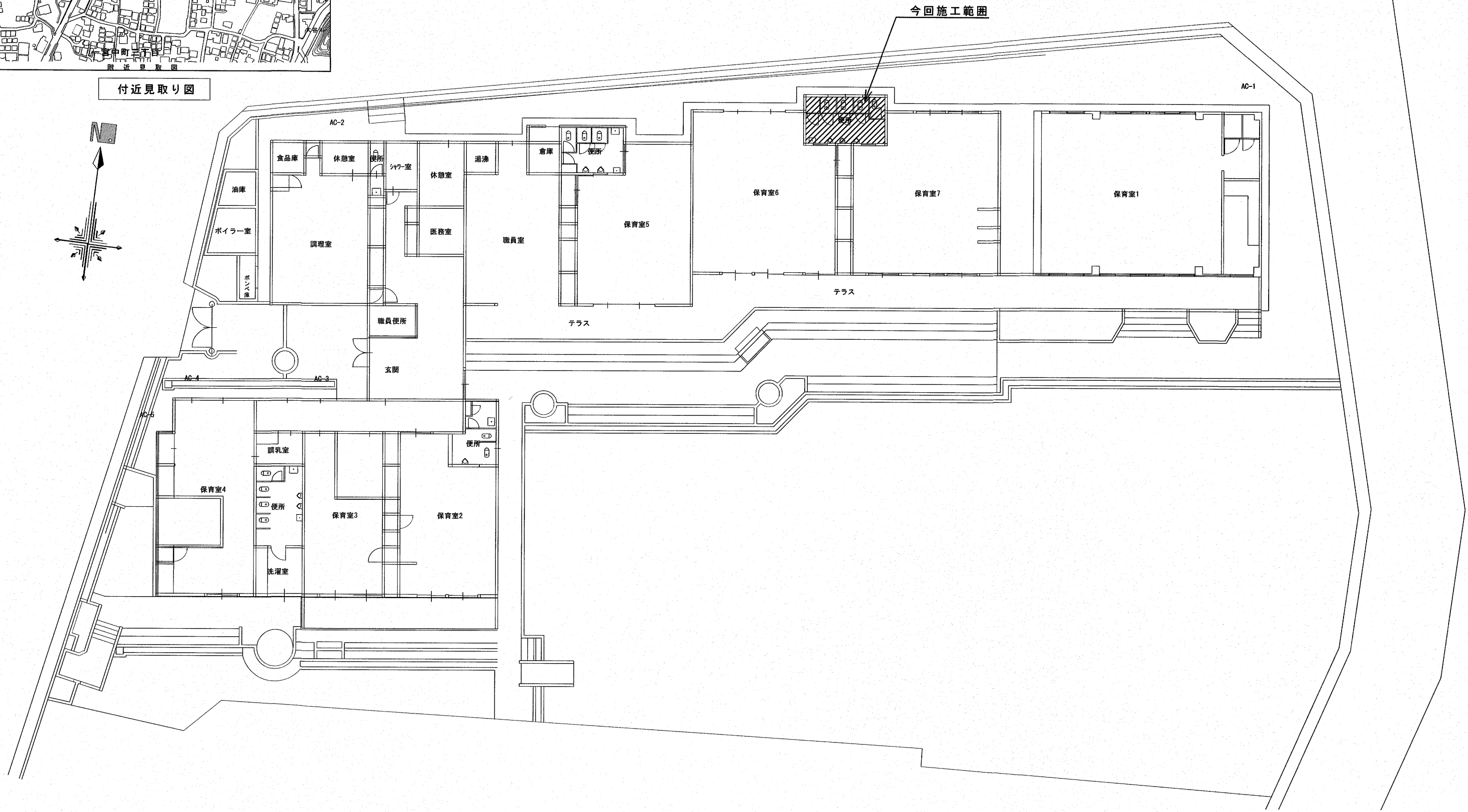
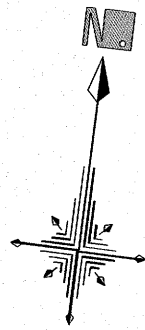
図 面 番 号 M-02

作 図 2026 年 10 月 日

高知市 都市建設部 公共建築課



付近見取り図



工事概要	
1. 一宮保育園の4・5歳保育室トイレの老朽化による改修工事(洋式化)に伴う機械設備の更新を行う。	

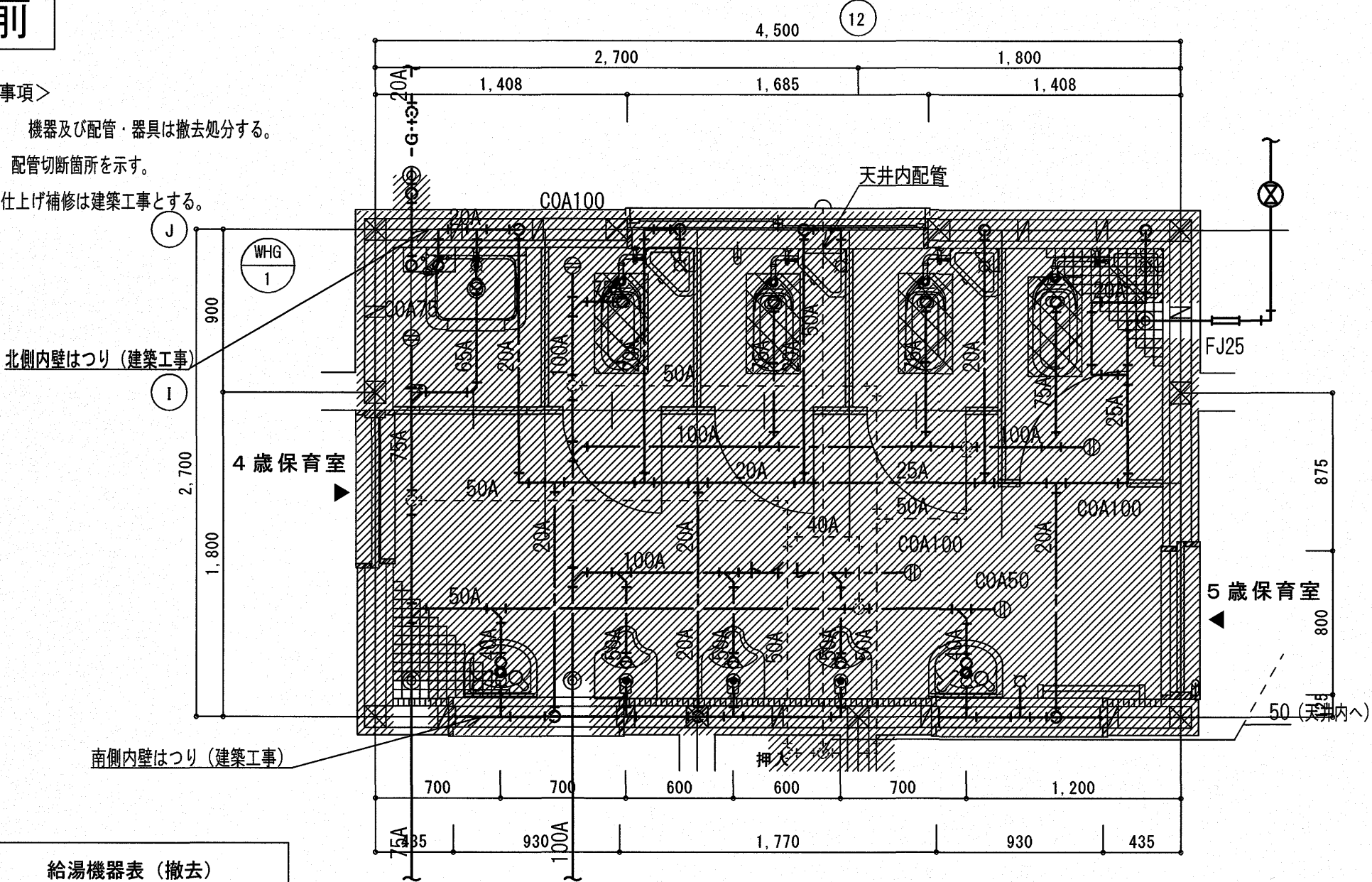
注記	
1. 施工については事前に現地の調査を要す。	
2. 工事時間・工事車両の乗り入れ、置き場については園・所管課と協議して決めること。	
3. 事前に準備作業を行い、断水期間についても極力短くすること。	
4. 本工事は園舎を使用しながらの業務継続工事となるため、騒音、振動等には十分注意すること。	

訂正	月	日	高知市都市建設部公共建築課	係	係長	課長補佐	課長	株式会社 掛水環境研究所 一級建築士事務所 高知県知事登録 第1381号 一級建築士大臣登録 第135992号 竹崎 耕作 高知市南久万204番地8 TEL 875-5812 FAX 826-7136	設計年月日 2026.10	承認	工事名称 一宮保育園4・5歳保育室トイレ改修機械設備工事		図面番号 M-03
									設計 野嶋 宣公	検図 濱口 隼人	図面名称 工事概要・配置図・付近見取図	縮尺 NOSCALE	

改修前

＜撤去特記事項＞

- 1) 機器及び配管・器具は撤去処分する。
2) 配管切断箇所を示す。
3) 床・壁・仕上げ補修は建築工事とする。



給湯機器表（撤去）

機器記号	機器名称	機 器 仕 様	電源 φ-V	消費電力 W	数量	備考 〔参考品番〕
WHG-1	ガス給湯器（LPG用）	元止め式 給湯専用 5号	1-100		1	〔 PH-5TB 〕
		リモコン ※取付位置は打合せ要				
		定格加熱能力1.74× 5号 = 8.7 kW、定格燃料消費量 11.2 kW				
		逆止弁付ボール弁20A、給湯器接続SUS製フレキ300L（給水20AA）				
		中間ガスコック15A、ガスフレキ15A×300L				

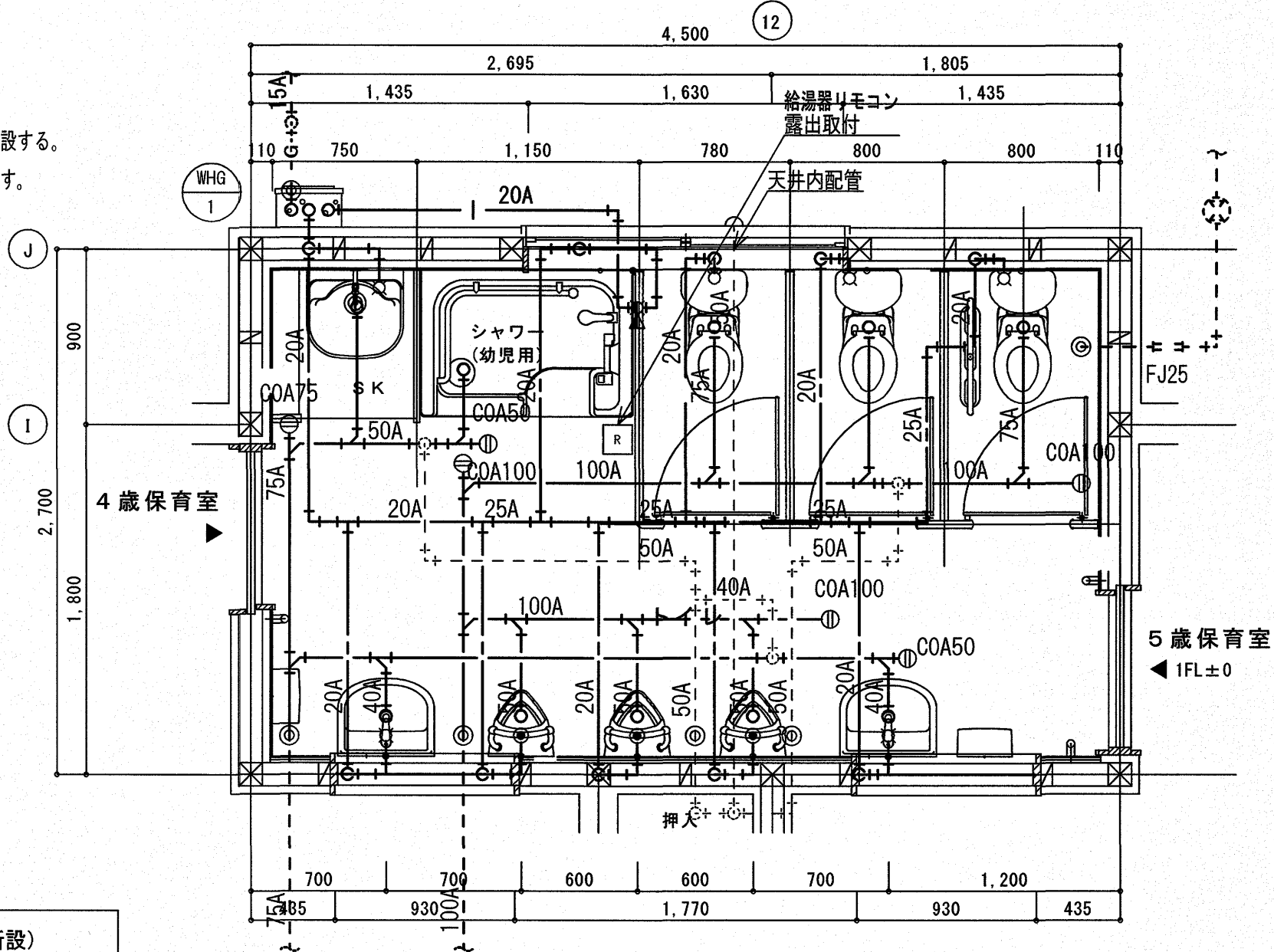
衛生器具表（撤去）

器具名称	品番	摘要	4・5歳 便所	合 計
幼児用・職員用大便器	C-425, S-513BKS		4	4
幼児用小便器	U-309C		3	3
掃除流し	SK-22A		1	1
壁掛手洗器	L5D		2	2
ホーム水栓	T200S-13		1	1
床排水金物	T5A-50		1	1
床上掃除口	COA 50A		1	1
	COA 80A		1	1
	COA 100A		3	3

改修後

＜改修特記事項＞

- 1) 実線の機器及び配管・器具は新設する。
2) 既設配管接続箇所を示す。



給湯機器表（新設）

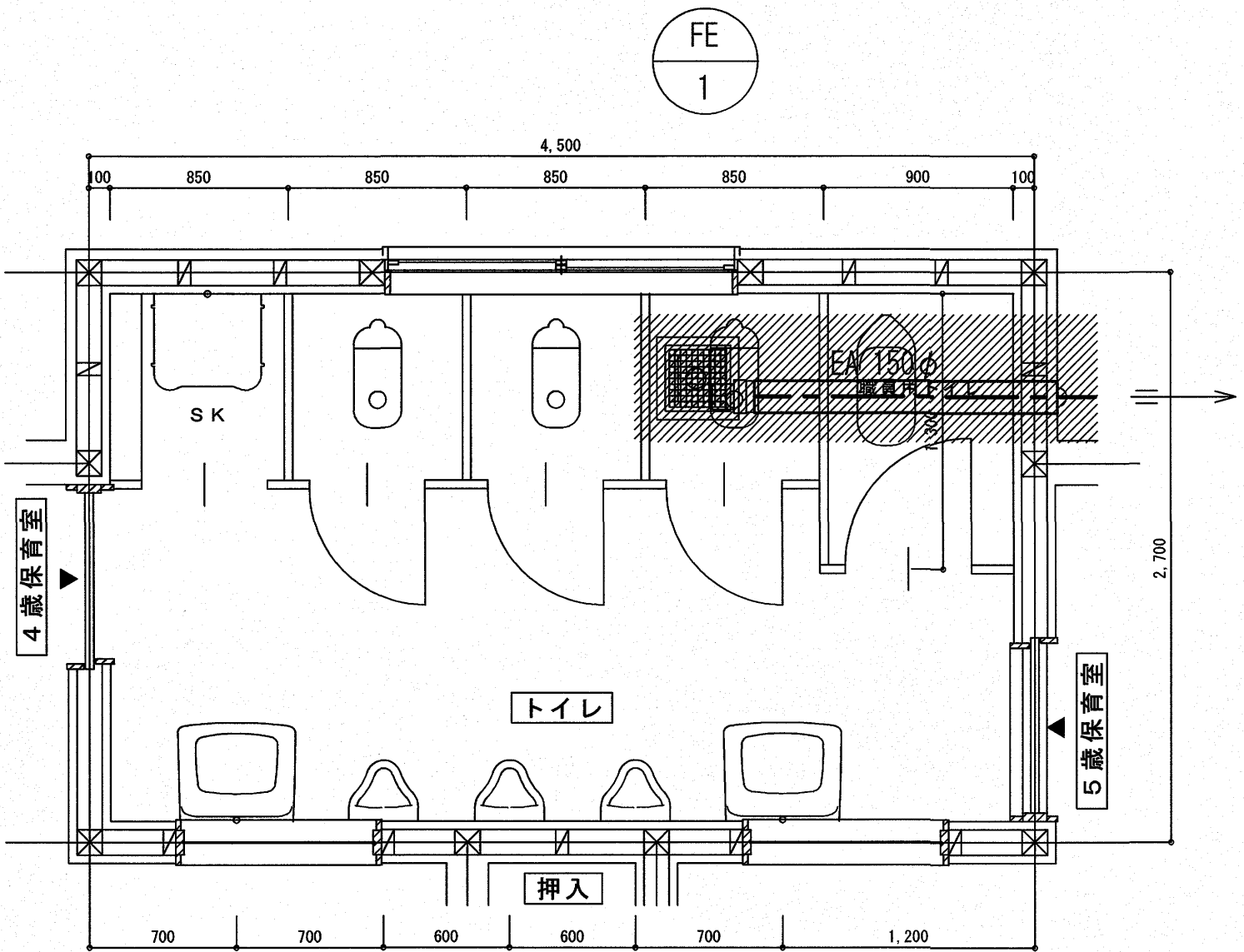
機器記号	機器名称	機 器 仕 様	電源 φ-V	消費電力 W	数量	備考 〔参考品番〕
WHG-1	ガス給湯器（LPG用）	屋外壁掛形 給湯専用 16号	1-100	40 (凍結防止) 74	1	〔 GQ-C1634WZ-C 〕
		リモコン ※取付位置は打合せ要				
		定格加熱能力1.74× 16号 = 27.8 kW、定格燃料消費量 29.4 kW				
		リモコンケーブル15m				
		逆止弁付ボール弁20A、給湯器接続SUS製フレキ300L×2（給水20A・給湯20A）				
		中間ガスコック15A、ガスフレキ15A×300L				

衛生器具表（新設）

器具名称	参考品番	摘要	4・5歳 便所	合 計
幼児用大便器	TOTO : CS300B, S300BK, TCF40R, TS310SGR, T82C38, HP430-7, YH51R LIXIL: C-P143S, DT-520XEC38, CF-43DCK, CF-8AWP, CF-103BC, CF-121L, CF-AA22H	タンク式、暖房便座、紙巻器	3	3
	TOTO : U310GY, T601P, T64CP, T9R LIXIL: U-401R, UF-3J, UF-13AWP (VU), UF-114E, H-54, KF-AA910CE40, KF-D16			
幼児用小便器	TOTO : PFS1100S LIXIL: PF-1175Y (3) -K4/FW1-Y, NP-K1A-5		1	1
	TOTO : L210C, TLE28SS1A, TL250D, TLDP2105JA LIXIL: L132AG, LF-1Z-U, LF-3V, LF-4PAL, SF-10E, LF-6L			
壁掛洗面器	TOTO : SK322, TK22, T23AEQ20C, T9R, HH04060×2, T37SGEP LIXIL: S-200, LF-7KEZ-19-U, SF-20SAF-P, SF-10E	立水栓（レバー式）、壁給水、壁排水	2	2
	TOTO : YYB10P2S LIXIL: KF-AA131CE44, KF-D16			
掃除流し	TOTO : YB10P2S LIXIL: KF-AA131CE44, KF-D16	横水栓	1	1
幼児用手すり	TOTO : YB10P2S LIXIL: KF-AA131CE44, KF-D16	既存取り外し、再取り付け	2	2
床上掃除口	COA 50A		2	2
	COA 80A		1	1
	COA 100A		3	3

改修前

- ＜撤去特記事項＞
- 1) 機器及びダクト・器具は撤去処分する。
 - 2) ダクト切断箇所を示す。

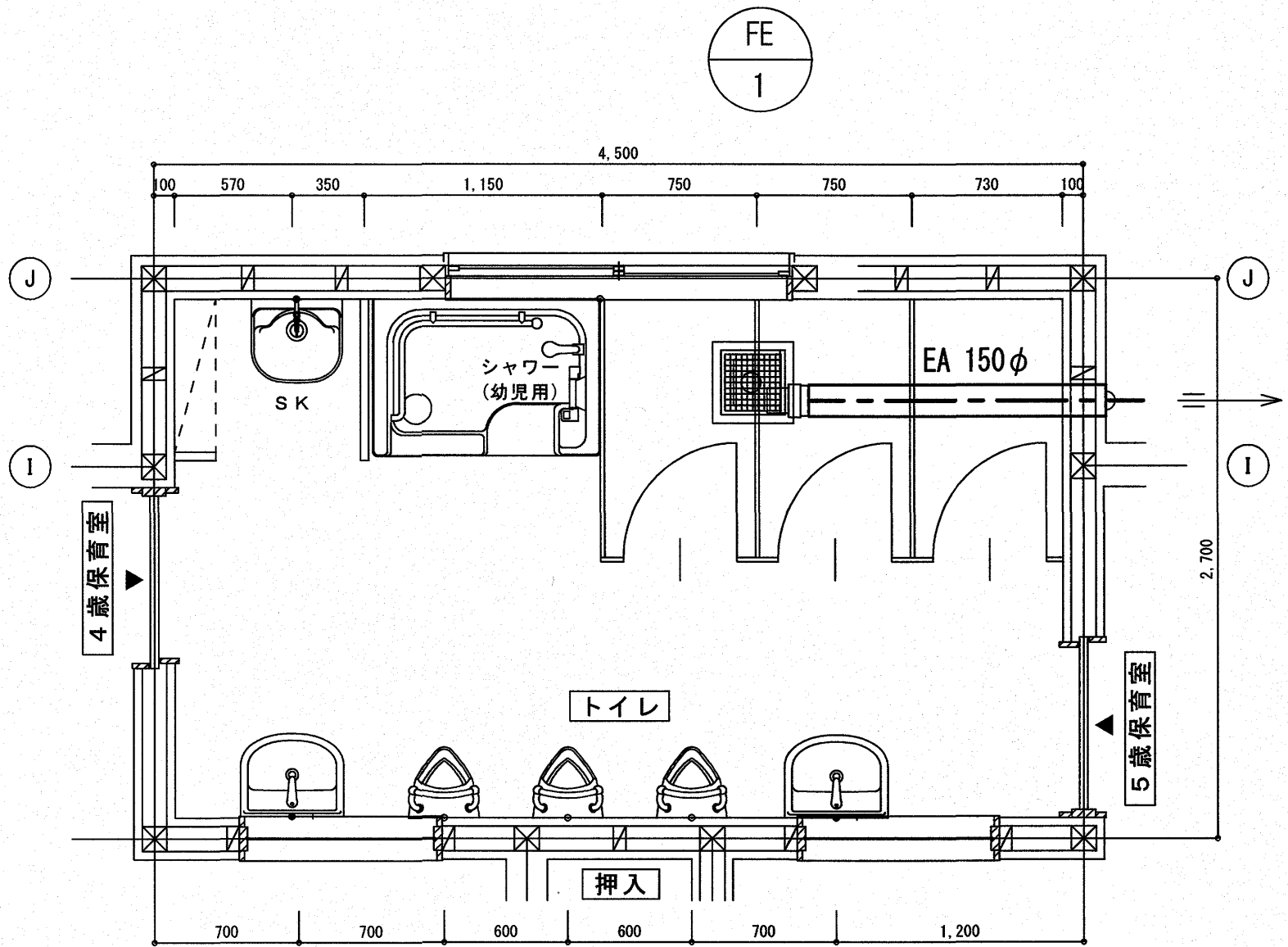


換気機器表（撤去）

機器記号	機器名称	機 器 仕 様	電源 φ-V	消費電力 W	数量	備考 〔参考品番〕
FE-1	天井埋込形換気扇	φ 150 × 370 m3/h	1-100	60.0	1	〔 VD-20ZS-2 〕
		SUS製深型ベンドキャップ100φ（覆い付・ガラリ・指定色焼付塗装共）				〔 - 〕

改修後

- ＜改修特記事項＞
- 1) 実線の機器及びダクト・器具は新設する。
 - 2) 既設ダクト接続箇所を示す。



換気機器表（新設）

機器記号	機器名称	機 器 仕 様	電源 φ-V	消費電力 W	数量	備考 〔参考品番〕
FE-1	天井埋込形換気扇	φ 150 × 350 m3/h × 40 Pa	1-100	49.0	1	〔 VD-20ZB14 〕
		SUS製深型ベンドキャップ150φ（覆い付・ガラリ・指定色焼付塗装共）				〔 AT-150FWS5 〕

工事概要

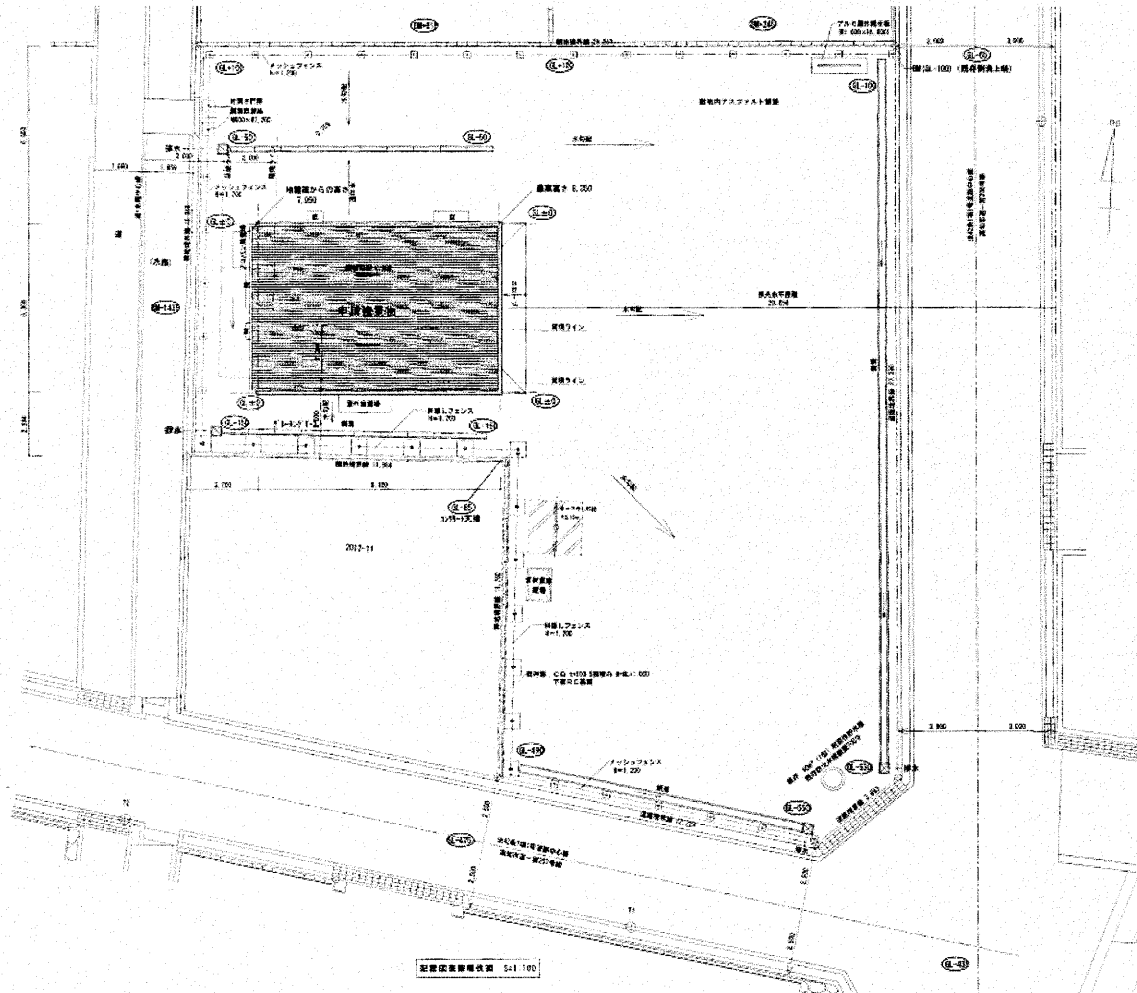
○4・5歳保育室トイレの乾式化改修

- ・乾式化に伴い天井、壁、床の改修（バリアフリー）

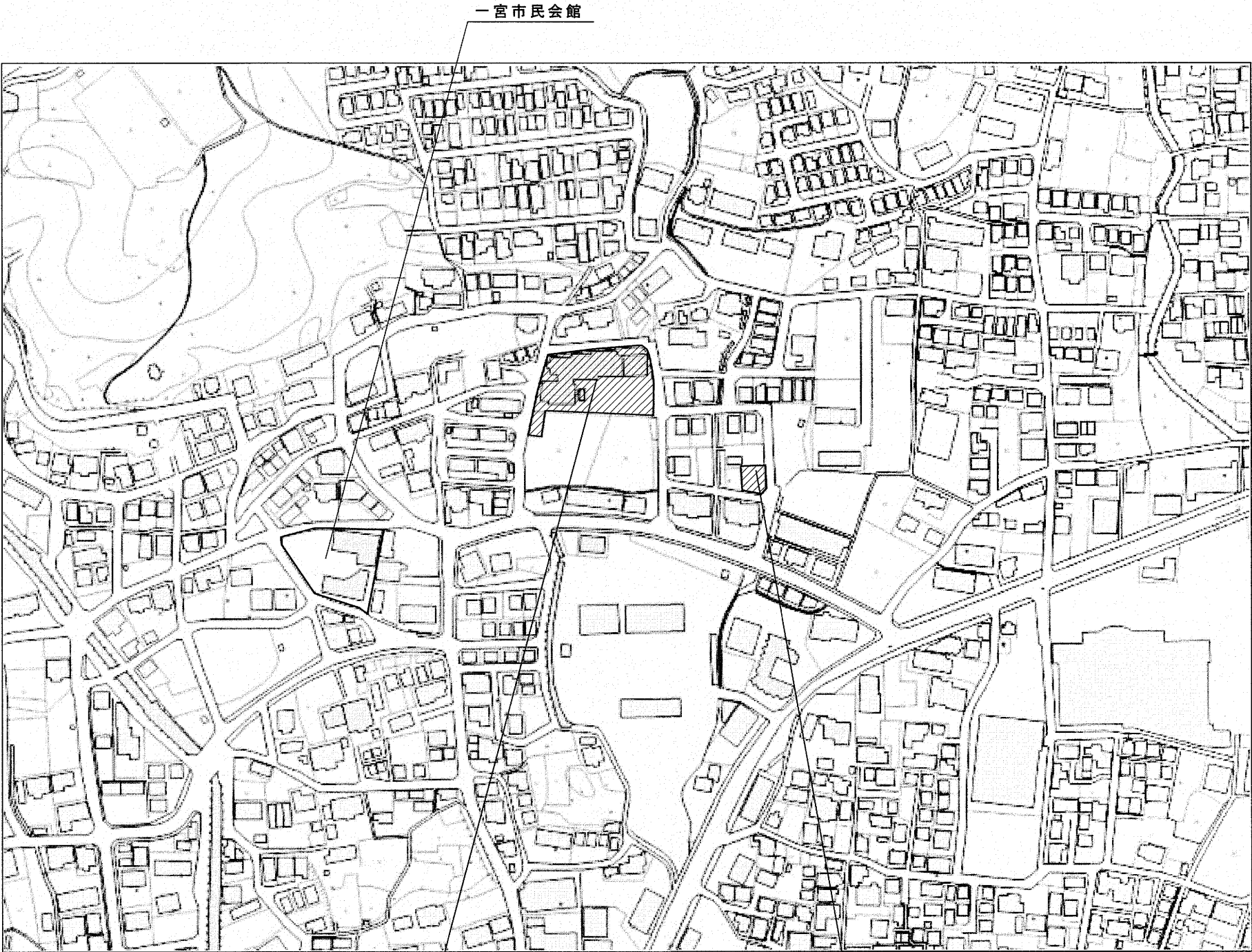
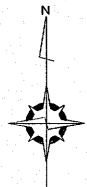
○プールの塗装改修

※ 施工条件・安全対策など

- ・ 園児送迎時間帯（7：30～9：30・16：00～18：30）は東門からの搬出入を控えること。
- ・ 13：00～15：00は午睡のため、大きな騒音及び振動を伴う作業（解体撤去など）は中止とする。
なお、トイレコンクリートスラブの解体は、土曜日のみの作業とする。
- ・ 工事車両は、消防車両の出動、進入及び消防活動に支障のない位置に駐車すること。



高知市消防団本部一宮分団配置図【参考図】



工事場所：高知県高知市一宮西町四丁目14番16号

作業員車両置き場（6台）：「高知市消防団本部一宮分団（高知市一宮西町四丁目17番13号）」

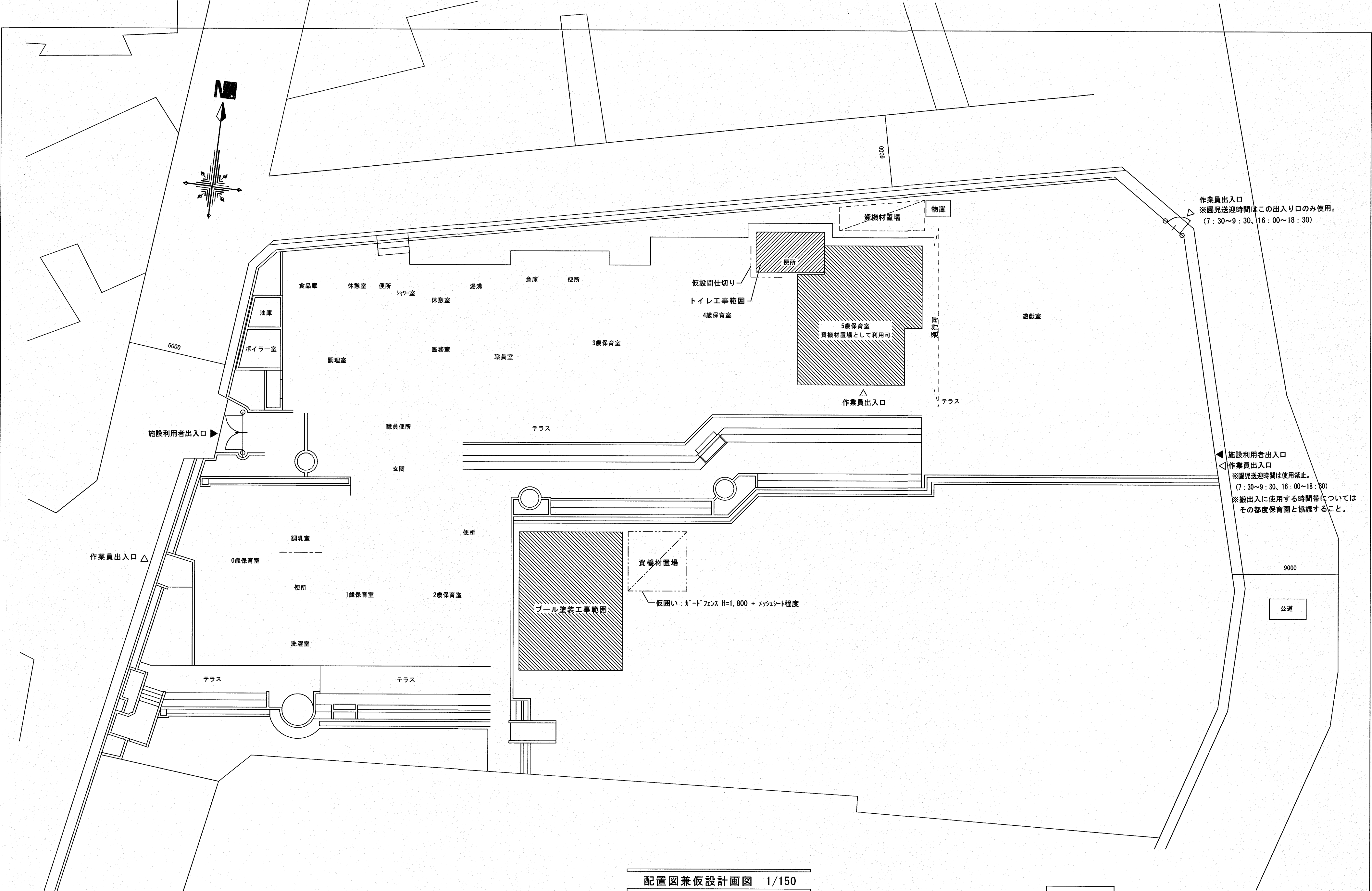
付近見取図 non scale

※作業員駐車場は近隣の「高知市消防団本部一宮分団（高知市一宮西町四丁目17番13号）」を使用すること。

参考図

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

PROJECT NAME		DATE	NO.
一宮保育園 4・5歳保育室トイレ改修工事		2026. 08. 30	A-07
TITLE		SCALE	
概要・付近見取図		NON-SCALE	
一級建築士事務所 高知県知事登録第1283号 一級建築士 大臣登録第354764号 大田高志		一級建築士事務所 スタジオヌン 〒780-0901 高知県高知市上町4丁目5-15 TEL/FAX 088-825-0160	
		STUDIO NEUNG	



配置図兼仮設計画図 1/150

※5歳保育室は工事期間中に工事用として使用可とする。

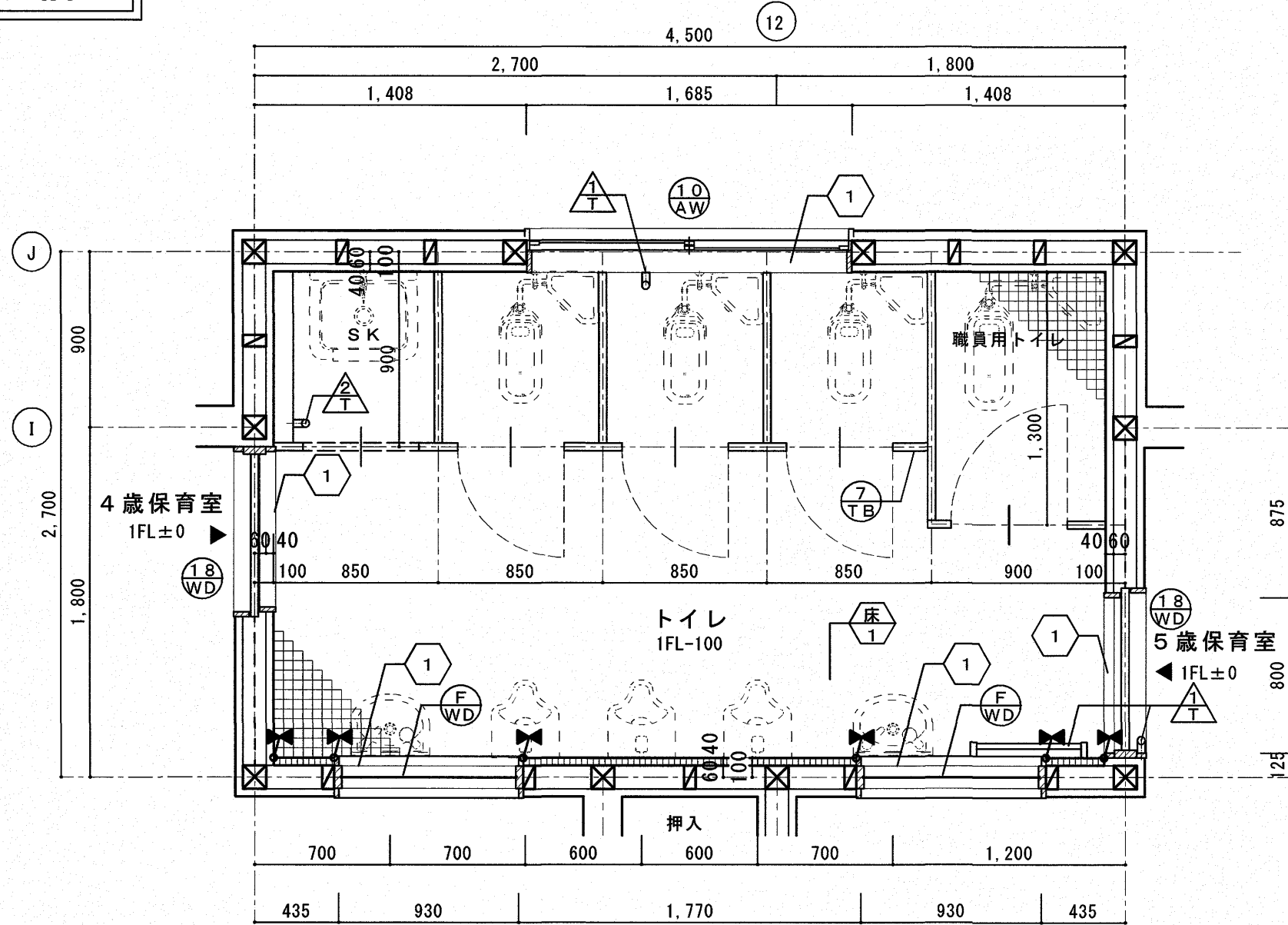
参考図

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

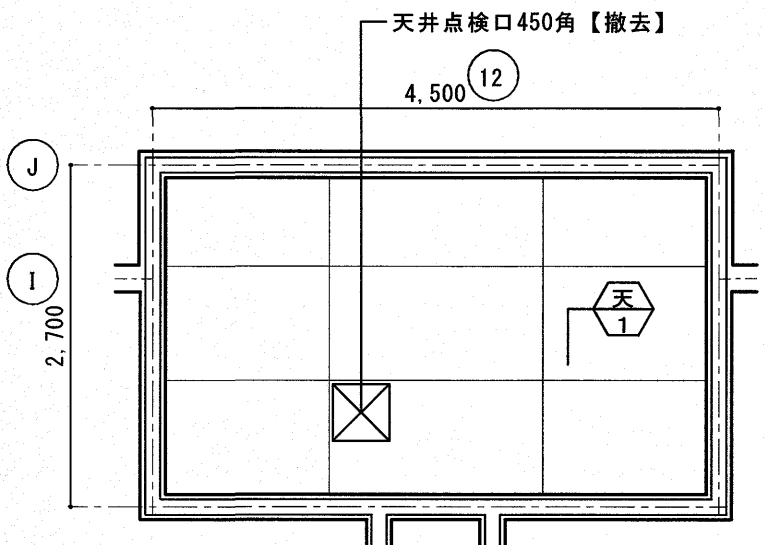
PROJECT NAME 一宮保育園4・5歳保育室トイレ改修工事		DATE 2026.08.30	NO. A-08
TITLE 配置図兼仮設計画図		SCALE 1/150	
一級建築士事務所 高知県知事登録第1283号 一級建築士 大臣登録第354764号 大田高志		一級建築士事務所 スタジオヌン 〒780-0901 高知県高知市上町4丁目5-15 TEL/FAX 088-825-0160	
		STUDIONEUNG	

改 修 前 仕 上 リ ス ト					改 修 後 仕 上 リ ス ト				
床1	床:モザイクタイル50×50 珪藻土下地 土間コンクリートt120 ⇒ 【撤去】	10AW	7㎡住宅用引違い窓W1685×H935 透明ガラス t4 ⇒ ガラス【撤去】	F1	床:ビニル床シート t2.0貼り 乾式二重床+構造用合板t12【新設】 コンクリート t120【新設】	10AW	7㎡住宅用引違い窓 強化型板ガラス t4【新設】 ガラス留めシーリング		
壁1	壁:しっくい塗壁 ラスボードt7下地 ⇒ 【既存のまま】	18WD	木製引戸 W800×H1800 透明ガラス t3 ⇒ ガラス【撤去】	W1	壁:化粧けい酸カルシウム板t6仕上 GB-S t12.5下地 ※胴縁 15×45@300㊦【新設】	18WD	木製引戸 アクリル樹脂板 無色透明 t3【新設】		
壁2	壁:カラータイル 100口 ラスフェルト20kg 木スリ13×90@150 珪藻土下地 ⇒ 一部【撤去】(図示)	FWD	木製FIX窓 W930×H935 透明ガラス t3 ⇒ ガラス【撤去】	W2	壁:化粧けい酸カルシウム板t6仕上 ポリマ-セメント薄塗下地【既存仕上の上】	FWD	木製FIX窓 アクリル樹脂板 無色透明 t3【新設】		
天井1	天井:ケイ酸カルシウム板 t6 AEP塗装 ※石綿含有 ⇒ 【撤去】	7TB	トイレブース 木り合板フラッシュ t40 ⇒ 【撤去】	C1	天井:GB-D t9.5【新設】 野縁・野縁受・吊木【既存再利用】	N1TB	トイレブース 建具表参照【新設】		
		1T	手摺 樹脂製 L600 ビ-ス留め ⇒ 【取外し後保管】	1	木製建具枠 UC塗装【既存下地処理の上】				
		2T	手摺 スチ-ル製 L600 ⇒ 【撤去】	M	木製見切 桧 25×15 UC塗装【新設】	1T	手摺 既存【再取付】ビ-ス留め		
1	木製建具枠 桧 W215(7㎡製建具部はW115) ⇒ 【既存のまま】			H	床材包み上げ H60【新設】				
2	木製廻縁 桧 40×50 ⇒ 【撤去】		備 考	D	塩ビ廻縁 【新設】		備 考		
3	木製見切 桧 25×50 ⇒ 【既存のまま】	壁1	については図中【撤去】箇所以外は【既存のまま】とする	S	棚板:メラミンボードフォーム t30【新設】★詳細図参照		化粧けい酸カルシウム板の継目・出隅・入隅にはアルミジョ-ナーを使用する事 【改修後】FLは【改修前】FL+100=1FLとする		

改 修 前



改修前平面詳細図 scale:1/30



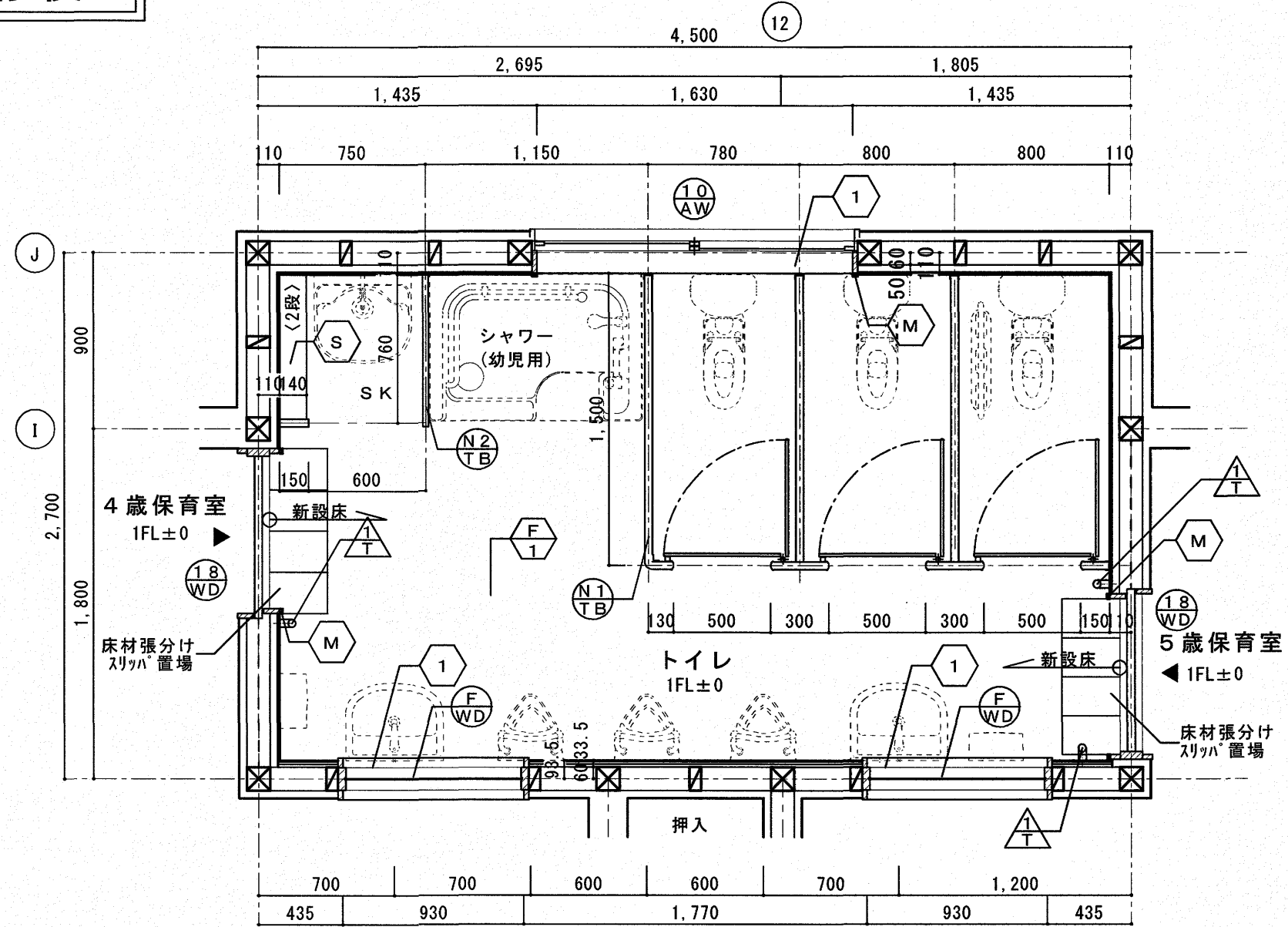
改修前天井伏図 scale:1/100

特記 ※衛生器具、配管、電気配線、コンセント、スイッチ類の撤去は別途設備工事で行う。
※土間コンクリート鉄筋の撤去は、新設する鉄筋の継手長さを残し撤去すること。

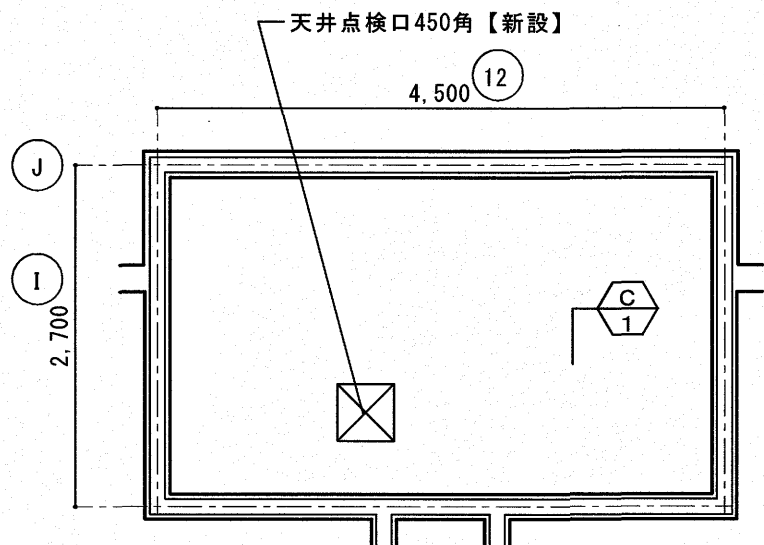
凡 例

- 壁 : カッター切り位置を示す(木製見切)
- 壁 : 撤去範囲を示す

改 修 後



改修後平面詳細図 scale:1/30



改修後天井伏図 scale:1/100

特記 ※露出した既存鉄筋等は、錆止め塗装を行う。
※点線で記載されている新設衛生器具及び手洗いかッター等は設備工事とする。

参考図

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
参考図			
PROJECT NAME 一宮保育園4・5歳保育室トイレ改修工事		DATE 2026.08.30	NO. A-09
TITLE 【改修前・改修後】平面詳細図、天井伏図		SCALE 1/30(A2)	
一級建築士事務所 高知県知事登録第1283号 一級建築士 大臣登録第354764号 大田高志		一級建築士事務所 スタジオヌン 〒780-0901 高知県高知市上町4丁目5-15 TEL/FAX 088-825-0160	
		STUDIONEUNG	